

〔問11〕 漢字の絵本を楽しく読むようにするには、どのようにしたら良いでしょうか。一回読むのにどのくらい時間を取ったらいいでしょうか。

〔答〕 いろいろな変化をつけてやるべきで、いつも決まったパターン、決まった時間でやるよりも、その時々の変化に応じて時には長く、時にはあっさりと、変化をつけた方がよいと思います。つまり、どのようにしたらよいかではなくて、いろいろな方法を試みる方がよいのです。私がAと言ったからAのやり方で教えるよりも、自分でその時に応じてちょうどいいと思われる所で、ある時は長く、ある時は短くやってみて下さい。食べ物でもごちそうばかりを食べさせるのではなく、たまにはあっさりとした味の物や、あまりおいしくない物も食べさせて下さい。感情を込めて読むということは、文というものの良さを子供に伝えますのでとてもよいことです。感情のこもらない読みというのは絶対によくありません。

〔問12〕 漢字カードを一日に何回も行なって飽きることがあります。どうしたら新鮮に、かつ楽しく読めるようになるでしょうか。

〔答〕 一日に何回もやって飽きることがないというのはむずかしいことです。いつでも同じようにやるのではなく、なるべく変化をもたせることが大切です。もともと飽きるような長い授業の合い間にさっと短い時間で気分転換を計るのが漢字カードの目的なのに、一日に何回もやったら飽きてしまうというのはおかしいですね。先生の方に「またか」という気持ちがあると、子供にもその気持ち移るのです。学習が続いて子供達の間になんか倦怠感がただよってきたところで、その雰囲気をはきしめたいという時にやるのがこの漢字カードなのです。ですから、先生自身が張り切って子供に対面し、火花の散るような読み比べをすることによって、今までだれていた雰囲気が緊張するのであって、飽きるようなやり方ではまずいですね。